

東日本ユニオン よこはま

J R 東日本労働組合
横浜地方本部
発行者/ 松田 和秀
編集者/ 教育・広報部

「変革2027を踏まえた新たなジョブローテーションに関する申し入れ」 第一次説明要求交渉Q&A②

4、車掌・運転士試験を廃止する根拠並びに適正判断は何に基づいて行うのか明らかにすること。

《回答》新たなジョブローテーションは、社員の能力、挑戦意欲に応じた多様な業務経験を積むことで安全・サービスレベルを向上させることを目的としたものである。よって、これまでの駅・車掌・運転士の順の養成を行う体系を見直すものであり、車掌試験・運転士試験を廃止することにした。なお、一人ひとりの社員が様々なことに挑戦し、主体性をもって将来の夢や希望につながる業務を経験することで成長していく観点と、安全・安定輸送の確保とお客さまサービスに必要な社員の配置という観点を考慮し、車掌・運転士になる社員を決定する考えである。

会社：社員の能力、挑戦意欲に応じた多様な業務経験を積むことで安全・サービスレベルを向上させることを目的とした。これまでの駅・車掌・運転士の順に養成を行う体系を見直すものであり、車掌試験・運転士試験を廃止することとした。なお、一人ひとりの社員が様々なことに挑戦し、主体性をもって将来の夢や希望につながる業務を経験することで成長していく観点と、安全・安定輸送の確保とお客さまサービスに必要な社員の配置という観点を考慮し、車掌・運転士になる社員を決定する考えである。

5、新幹線運転士試験を廃止する根拠並びに適正判断は何に基づいて行うのか明らかにすること。

《回答》全支社社員に多様な機会を提供するため、エリアを選択できる公募制異動により募集を行うこととした。新幹線の運転士になる社員は業務への意欲、敵性等を面談等で把握する考えである。

会社：全支社社員に多様な機会を提供するため、エリアを選択できる公募制により募集を行うこととした。新幹線の運転士になる社員は業務への意欲、適正等を面接等で把握する。

組合：任用の基準についてはどう判断するのか。

会社：様々なことに挑戦と安全・安定輸送の確保とお客さまサービスに必要な社員の配置と主体性を持って将来の夢や希望につながる業務を経験することで、成長していく二つを軸に考えていく。

組合：一律で試験があったが、なぜ無くなったのか。

会社：向き不向きの要素はあるが、本人希望を考慮に加えて箇所長、助役の判断とした。また要員の需給もある。

組合：駅に残りたくても車掌に行く可能性もあるのか。

会社：ありえる。

組合：乗務員は、将来の目標のための通過点となり、腰掛的になる社員が出てくるのではないか。

会社：5~10年後の先のステップなど、ロングスパンで将来の計画を見ていくので、腰掛にはならない。

組合：今後も新幹線運転士の公募はやっていくのか。

会社：やっていく。手をあげた社員に対し、面接さらに「意欲」のある人や「適性」を見る。

組合：新幹線運転士の公募と在来線運転士希望の自己申告の面談の違いや募集の時期については。

会社：在来線については公募による募集ではない。新幹線の公募については、これまで試験と同じ考えであり、募集の時期に手をあげてもらおう。公募の選考方法や面接など含め、駅から新幹線運転士も検討している。